市議会だより

一般質問

会期中の十二月十一、十二日の二日間にわたって一般質問が行われ、大坂谷征志、鉱川景一、黒田常人、湯瀬勝衛、工藤良一、奈良駒吉の六議員が市政をとりまく諸問題について、市の方針をただしました。その主な質問と応答の要約は次のとおりです

第二中学校の改築について

〈問〉二中の改築について、改築期成同盟会が中心になって、市、教委に再三陳情しているがいまだに具体的な方針が明らかにされていない。地盤沈下がネックになっているので、鉱山側にも責任があると思うがどうか

〈答〉二中の改築は、五十七年度着工をメドに近く結論を出したいと思っている。鉱山側の地盤沈下により、それを主因としての改築ではない。木造による老朽という経過年数の問題だと考えている。改築にあたって、いまの場所に建設できない、それに地盤沈下という問題がかかわっておるとすれば、鉱山側と話し合いしながらすすめていきたいと思っている。

公共施設の管理運営について

〈問〉市民の多様なニーズに応えるため、年々各種公共施設が整備されており、今後も新増設されていくものと思うが、これら施設の管理運営について、民間委託の活用等創意工夫が必要と思うがどうか。

〈答〉公共施設が年々増加しているが、多くなったからといってサービス低下になってはならないと思っている。だとすれば当然ご指摘のあったことについても十分検討する必要がある。不可能な施設も当然あるが、中には民間委託の可能な施設もあると思うので、ご提言の方向で十分検討しながら、創意工夫して対応していきたい。

合併町村の分収の見直しについて

〈問〉合併による統一財産の分収条例は、地域的に均衡、統一性を欠いているので、全市を通じ統一した整合性のある分収条例に見直すべきだと思うがどうか

〈答〉分収割合の定めのあるのは旧釈迦内のみで、他の地区にはない。したがって、農事組合法人が設立された地域から市有地の無償譲渡を計画的に実施しており、百%地域利用ができるものと思っている。分収割合がどうこうというより、所有条件がはっきりすることにより利用率をたかめると同時に、所有者が責任をもって、力の入った、実の入った生産態勢をつくっていくものだと思っている。

広域し尿処理場建設用地の選定について

〈問〉し尿処理場の全面改築について、広域事業として昭和六十年をメドに進めているようだが、現在地は年々宅地化が進み市街化区域として発展する要素をもっており、地域の住民が反対するのは理解できる。広域的な見地から、他に候補地を早急に物色すべきと思うがどうか。

〈答〉都市開発との関係、周辺の環境条件に十分配慮しなければならないことから、ゴミ焼却場も沼館の堤沢が適地であると考えたが、合意が得られず現在地とした。一方、衛生センターとしての管理運営面からすれば他に移転という方向もむずかしくなるという一面がある。しかし、現在地が適地だとは決して考えていない。いずれ選定にあたっては、私の一存では決めがたい問題なので、質問の趣旨を尊重しながら、広域圏と協議を重ね、早い時期に結論を出す方向で努力したい。

五十五年度職員採用試験について

〈問〉市民の厳しい批判のあった職員採用試験について、一月実施にむけて現在受験申し込みを受け付けているが、問題となった合否をどういう形でやるのかあるいはどういう法令を準用するのか。

〈答〉十二月一日付で、地元三紙及び市広報で公告したところだが、一次の教養試験については、県の人事委員会に依頼しており、当市は北鹿地区二市八カ町村で協議会を設立して、観光計画の推進を行ってきている市としては、五十四年十二月に基本計画を策定して県に提出しており、その中に大滝温泉観光センターの建設、長根山一万本桜公園の造成、ふるさとセンターの設定、長木川原おまつり広場の造成の、四つを柱にした振興計画をもっている。現段階ではその計画を変更する要素はないと考えている。大滝温泉観光センターについては、温水プールを設置し、あわせてこども遊園地、食堂、無料休憩所、会議室、観光案内所等を併設して、一大娯楽センターとしての観光客を誘致しようというものである。五十五年度は十万円の調査費を計上して、場所の選定、敷地の購入準備、施設規模の調査に取り組んでいるところである

観光振興計画と観光センターについて

〈問〉県の観光振興計画に基づく市の計画として、四つの柱があると聞いているが予定どおり進行しているのか。特に大滝温泉開発センターについて、その計画内容はどうなっているのか

〈答〉県の観光振興計画は五十三年十二月に策定され、県内六圏域の観光ブロックにわけられており、当市は北鹿地区二市八カ町村で協議会を設立して、観光計画の推進を行ってきている市としては、五十四年十二月に基本計画を策定して県に提出しており、その中に大滝温泉観光センターの建設、長根山一万本桜公園の造成、ふるさとセンターの設定、長木川原おまつり広場の造成の、四つを柱にした振興計画をもっている。現段階ではその計画を変更する要素はないと考えている。大滝温泉観光センターについては、温水プールを設置し、あわせてこども遊園地、食堂、無料休憩所、会議室、観光案内所等を併設して、一大娯楽センターとしての観光客を誘致しようというものである。五十五年度は十万円の調査費を計上して、場所の選定、敷地の購入準備、施設規模の調査に取り組んでいるところである

その他の主な質問事項

▽地方財政問題（地方交付税率の引き上げ等の改革、五十六年度予算編成の基本政策、五十五年度決算見通し等）について▽農業問題（冷害緊急対策、救農土木対策の促進、減反割り当てエサ米転作、被害農家子弟の就学援助、飯米確保等）について▽土木行政（生活環境整備対策除雪対策、鷹子ケ森鉱山開発に伴う道路整備、都市づくりと道路政策等）について▽教育行政（学区の編成と二中の改築、米飯給食の促進、老朽校舎の改築青少年健全育成等）について▽地場産業の振興対策について▽職員の意識改革と研修、職員配置、部長制について▽健康都市大館市づくりの推進について▽日本医工従業員採用状況について▽土地改良区の合併統合について▽保育料の父兄負担の軽減と均衡化について▽乳児保育園について▽市長の施政方針について▽大型店問題と地元企業対策について▽新興住宅地帯の生活環境の整備について▽社会的弱者の保護対策について▽市制施行三十周年記念行事について▽火災による人身事故防止対策について▽失対事業の再確立（これまでの評価、今後のあり方等）について▽花岡桜町の鉱害問題について▽入会権問題（現状と市としての解決の道）について▽古文書等の資料保存について▽国鉄ローカル線問題（阿仁合線の市としての対応、花輪線の強化等）について▽寝たきり老人の入院施設について▽観光行政（地元観光開発と県観光振興計画とのかかわりあい、杉の子使節団の今後のあり方等）について▽各種体育施設の充実について▽十二所駅の業務委託と大滝温泉駅の改修について

議案等

１２月議会定例会の会期中に議決された議案等の件名結果は次のとおりですが、ほかに交通災害共済組合規約変更の専決処分報告及び昭和５４年度予算にかかわる一般会計継続費精算書の報告がありました。

- ◆ 昭和５４年度水道及び病院事業会計決算　２件（９月定例会後の閉会中審査事件）　認定
- ◆ 昭和５５年度一般会計２件、特別会計（国保２件、温泉開発、卸売市場２件、食肉センター、都市計画２件下川沿財産区）及び水道事業会計２件、病院事業会計２件の各補正予算案　１５件　原案可決
- ◆ 辺地に係る総合整備計画の変更　原案可決
- ◆ 大館市、比内町、田代町衛生処理施設組合の解散及び同財産処分　原案可決
- ◆ 大館周辺広域市町村圏組合規約の変更　原案可決
- ◆ 字の区域及び名称の変更（大館火災復興土地区画整理地域）　原案可決
- ◆ 恩給条例等の改正　原案可決
- ◆ 昭和３７年１１月３０日以前に給与事由の生じた者等の昭和５５年における退職年金等の年額の改定　原案可決
- ◆ 市営住宅条例の改正　原案可決
- ◆ 保育園条例の改正　原案可決
- ◆ 市職員の給与条例の改正　原案可決
- ◆ 昭和５５年異常低温による冷害の被害者に対する国保税減免条例　原案可決
- ◆ 市民文化会館舞台機構設備工事及び舞台照明機構設備工事請負契約　原案可決
- ◆ 教育委員の任命　原案同意
- ◆ 固定資産評価審査委員選任　原案同意
- ◆ 人権擁護委員候補者の推せん　原案異議なし

以上のほか、次の決算については、委員１２名で構成する「決算特別委員会」を設置し、閉会中に審査することになりました。

- ◆ 昭和５４年度一般会計及び特別会計（国保、温泉開発、奨学資金、卸売市場、土地取得、食肉センター、都市計画、上川沿・下川沿・片山・川口・餅田各財産区）の各決算　１３件

さらに６月議会定例会で設置された「職員採用に関する調査特別委員会」及び１０月議会臨時会で設置された「冷害対策特別委員会」は、付託されたそれぞれの事項に関する調査と対策を終了し、本定例会をもってその任務を終わることになりました。

意見書

議員提出にかかわる次の意見書は、原案どおり可決され、それぞれの関係機関に要望することになりました。

- ◆ 秋田営林局の存続に関する意見書（提出先、総理、農林水産両大臣、行政管理庁、林野庁両長官）
- ◆ 義務教育諸学校の第５次学級編成及び教職員定数改善計画の成立と過疎県に対する経過措置「最低保障制」の確保に関する意見書（提出先・総理・大蔵・文部各大臣）

採択された陳情

- ◆ 用水路の改善（通り町地区）
- ◆ 市道の設置（桜町地区）
- ◆ 側溝の整備（市道小館花線）
- ◆ 市立第二中学校の早期改築
- ◆ 秋田営林局の存続要請
- ◆ 教職員定数の最低保障率（９８・５%）の存続に関する意見書の提出要請
- ◆ 教育環境改善（ＰＴＡ連絡協議会）
- ◆ 市道の舗装（南中四羽出線）
- ◆ 市道の舗装（清水五丁目地内）
- ◆ 冷害による被災農家の救済方（寺の沢）
- ◆ 長木公民館雪沢分館の早期改築
- ◆ 川口小学校プール新設

閉会中（継続）審査事件

- ◆ 昭和５４年度の一般会計・特別会計決算13件をはじめ請願・陳情あわせて５８件は、いずれも担当委員会で閉会中に審査することになりました。